

介護の技能実習 初来日

「日本の介護学びたい」

中国女性2人が入社式

宮崎県

宮崎県
社員として辞令を受け、今後5年間勤務する予定だ。

介護の外国人技能実習生として初めて来日した中国人女性2人が約1カ月の研修を終え2日、実習先の有メー

リス(宮崎県延岡市)で入社式を迎えた。正

理解できるレベル)に

2人は簡雪梅さん(47)と柴艶紅さん(41)。中国の有料老人ホームで働いた経験があり、入国要件である日本語能力試験のN4(基本的な日本語を

介護付き有料老人ホームで働く柴さんは緊張しない」と笑顔で話し、介護付き有料老人ホームで働く柴さんは緊張しながらも「日本語は難しいけど面白い。日本



入社式で自己紹介する簡さん（左）と柴さん

習計画に沿つて進められる。まずは2週間かけて利用者への声掛けや介護の基礎などを学び、状況をみながら利用者と接することになる。

中国での事業展開を見据える小野真介・代表取締役は「介護の技能移転が目的であり、人材確保として当てにしていない。日本の介護を学んで中国でリーダーとして働くよう育つてほしい」と期待する。

また別の2人が既に来日して研修を受けており、23日に入社式を行う予定だという。

政府は新たに5年の在留を認める就労資格を創設する意向で、最長5年の技能実習と合わせると10年在留できることになる。

(榎戸新)